

コトコト織ってコツコツ学んでドンドン伝える

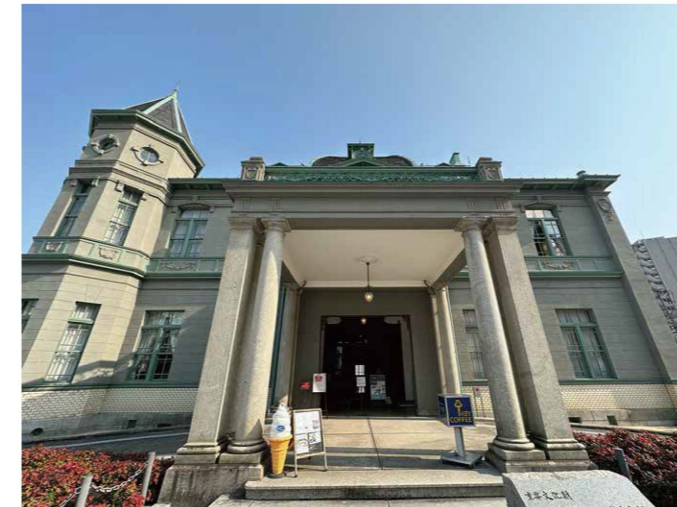
おりおり便

vol.21

2023 Spring
博多織DC

旧福岡公会堂「貴賓館」において 15期生・研究科生卒業作品展 (卒展)を開催しました。

2023年3月7日～3月12日開催



博多織を「童話と神話」に 重ねてみました

(15期生 堺みな)

卒展での私のテーマは「童話と神話」。それは昔から語り継がれてきた童話や神話と、昔から伝えられて今に至るまでその技術が失われていない博多織と通じるところがあると思ったからです。展示方法では、どの帯がなんの童話なのか想像してもらうためあえてタイトルなどはつけずにその童話の特徴を看板や小物にして置きました。すぐになんの童話が気づいてくれる方も多くて嬉しかったです。

卒業後は、研究科生として残る予定です。目標は、自身が織った着尺などでアクセサリなどの小物類を作り売ることです。また、SNSを通じての発信なども練習出来たらと考えています。研究科生になったら本格的に投稿をしていきたいです。カレッジに入学してから出来ることや新しく学んだことが多くあります。まだ未熟なところはたくさんありますが、少しずつでも進んで行けるように頑張っていきたいです。

会場は第13回九州沖縄八県連合共進会の来賓接待所としてつくられた旧福岡県公会堂貴賓館。110年前の洋風建築と780年の歴史をもつ博多織が不思議な調和を醸しました。メインは本科卒業生(1人)の展示「博多織で表現する劇中劇の世界」。他に1年生研究科生の作品等も展示され、1年生にとっては来年に向けた学びと気づきの機会になったと思います。



来場されたお客様から いろいろなご意見をいただきました

感動しました！若い子たちが伝統を受け継がれていく姿勢が素晴らしいと思います／みなさんコンセプトもしっかりし、デザインもよく、すぐにでも売れるようなものが多く感心いたしました。POPの制作も力が入っており良いです。来年も頑張らしましょう／それぞれの作品についての想いや、どうしてこの柄にしたのか等の説明があるとよかったです／子どもに伝統工芸の世界を見せたいと思い、子どもと来館しました。「すごい、すごい」と言っており、少しでも記憶として残ればと思います／おとぎ話の題材が織り込まれた美しい作品、帯を結んだ時の構想まで考えられており、技術の高さを感じた／博多織のイメージが従来のものと違って、若い人の作品だなと感じました／博多織と西洋の香りがうまく溶け込み素敵でした／博多織のイメージを打ち破る新しい作品が多く、感動しました／素敵な空間ですが、少し狭いのが残念でした。

Infomation

NEWS 1年生がほぼ毎日、 Instagramでの発信を展開中です

カレッジでの日々の研修模様について、1年生が交代でほぼ毎日発信を行っています。昨年8月にスタートし、これまで160件の投稿を行い、250人の方々にフォローいただいております。カレッジの広報として欠かせない活動となっています。写真1枚と数行のコメントが各回投稿の基本パターンですが、いろんなアングルからの写真を眺めるだけで、カレッジの研修のリアルをつかんでいただけたらと思います。また、ほぼ毎日の投稿が研修生にとっては発信の大切さをつかみ写真のセンスを磨く機会となっています。



ぜひQRコードからアクセスしていただき、「フォロー」と「いいね！」をよろしくお願いいたします。



九州産業大学の全卒業生に オリジナル名刺入れを手渡しました

九州産業大学との初の連携事業として卒業記念品用の名刺入れの制作発注をいただきました。柄の説明や博多織の由来を添えた素敵な記念品に仕上がりました。3月10日の九産大卒業式で全卒業生に手渡されました。この名刺入れは九州産業大学(芸術学部・青木幹太研究室)と博多織デベロップメントとの共同作品です。生地製作と縫製加工は外部メーカーに依頼しましたが、他の工程は九産大の学生とカレッジの研修生・研究科生と協同作業ですすめられました。学外連携を研修機会として活かしていった今回のプロジェクトは、カレッジにとって貴重な経験となりました。



入賞・入選 情報

第69回 日本伝統工芸展 染織部門

入選 盛 かおる(工芸会正会員) 一重経間道帯「縷縷」
新海 佳織 三重経帯「思考回路」

第77回 福岡県美術展覧会(県展) 工芸部門

入選 堺 みな「太陽航路」
大谷 雅志「落葉」
橋口 恵美 ゆかた帯「爽和」

第46回 全国伝統的工芸品コンクール

入選 近藤啓子 手織り八寸帯「星や夜や」
大淵和憲 御朱印帳揃「彼誰時」

第8回 日本伝統工芸士会 秀作展

梅檀賞 荒木希代 なごや帯「真夜中の夢」

4期生・盛 かおるさん カレッジ初の日本工芸会正会員に

4期生の盛かおるさんが、カレッジの卒業生として初の日本工芸界の正会員に選出されました。日本工芸会は、重要無形文化財保持者(人間国宝)を中心に伝統工芸作家、技術者等で組織する団体で、正会員は年一回毎年開催される日本伝統工芸展で4回以上入選された方が入会資格をもつものです。盛さんはこれまで5回の入選実績があります。今後のさらなる活躍を期待します。

・WANTED・

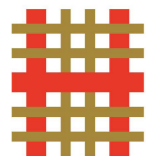
博多織の未来を見守る賛助会員募集中

詳しくはホームページをご覧ください。

博多織DC 17期生募集中

詳しくは、メール又はお電話でお問い合わせください。

TEL:092-472-5102 FAX:092-472-5103 Email:hakataori@forest.ocn.ne.jp (担当:山崎)



博多織DC

本誌の内容に関するご意見、ご感想等はこちらまで!

情報誌 おりおり便 発行日/2023年3月20日
編集・発行/特定非営利活動法人 博多織技能開発養生学校
〒812-0014 福岡市博多区比恵町20番19号
TEL.092-472-5102 FAX.092-472-5103
<https://www.hakataoridc.or.jp>



来年は私たちが主役です。1年後に向けて頑張ります！

先輩の卒展で帯のデザインを見て、「私にはできないデザインだ」と思いました。私の帯は、主に幾何学模様です。それだけに、帯の中に可愛い猫がいたり、何の童話をモチーフにした帯なのか一目見ただけでわかる帯があったりです。飾り付けの小物なども帯のテーマにあうように考えられていて、どんな世界観なのかととてもわかりやすかったです。来年の卒業展示会は私達16期生が主役なので、先輩に負けずにいい帯を作って自分の世界観がはっきりとわかる会場作りができるよう努力していこうと思います。(16期生 中原希)

卒展では初めて小物販売も行い、来場者の方々に喜んでいただきました。

今年度の卒展では会場2階のメイン展示とは別に1階部分で小物の販売を行いました。これまでの会場では販売行為の制限があったため、販売コーナーを設置することはできませんでしたが、今回はネックレス、イヤリング、ピアス、ブックレット、コースター、紋紙チャーム、タッセル風チャームなど合計10種類の小物を展示・販売することができました。いずれもカレッジの帯や生糸、紋紙を使い、研究科生と1年生がつくった小物です。それに加え、これも初の試みですが過去に研修生たちが織った帯地(間道)の

卒展で感じたことは、博多織は余り知られていないということでした。名前は知っていてもどんな物かは知らないという方もいらっしゃいました。博多織と言えば献上柄というイメージがあり、こんな柄出せるんだという声も多く聞きました。今回の作品展のテーマが博多織や着物のイメージから離れていたため新鮮で親しみやすく感じてもらえたのではと思いました。展示の改善点は多々ありましたが、お客様に楽しんでいただけたと思います。来年は自分のテーマと帯のコンセプトが分かりやすいよう工夫したいと思います。(16期生 光成七海)

寸法売りを行いました。いずれも買っていただくお客様の反応や評価に直接ふれることで、ビジネスやマーケティングの感覚をつかむ機会になったと思います。帯地の寸法売りは17人の来場者に購入いただきましたが、こちらは消費者・生活者の価値観からの発想で、博多織の魅力が日常の暮らしを彩るアイデアが生まれることを期待したいと思います。



博多織求評会での「博多織DCコーナー」、色彩や柄が話題となりました。

博多織の職人や作家が製作した作品や製品の新作発表会「博多織求評会」が11/12-13に開催されました。令和4年で120回の歴史を誇る博多織工業組合の最大の行事ですが、併設イベントとして会場(承天寺)の一室でカレッジの研修生・研究科生の新作15点と、博多織を使った小物5点も展示しました。今回は例年になく人出となり多くの方々に新作を見ていただくとともに、とりわけ「エジプト」「金魚」「インド」「ドイツ」「ステンドグラス」等に名付けられた柄や色合いが来場者の関心・話題を集め、「手織のよさ」「フレッシュな色彩感」「色目のよさ」「柄の面白さ」などについて高評価をいただきました。さらに、300件を越すアンケート回答をいただき、会場の雰囲気についてほとんどの人が「素敵」と言っていたことが大きな励みとなりました。カレッジ研修生が担当した体験機も大活躍で、外国人や年配の方々にも体験していただくとともに、「こんなふうには織れるんですね!」という驚きの声が上がっていました。力を入れていきたいと思っています。



第23回 博多つくりベデザインコンクール 378件もの応募がありました

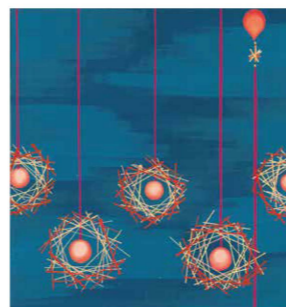
博多つくりベデザインコンクールは博多織に新風を吹き込む斬新なデザインを募る目的で始まったものです。博多織DCが主催し毎年開催しています。第23回は「私の好きな風景」という募集テーマを掲げましたが、県下7高校から378件の応募が寄せられました。その中から審査会において最優秀賞1件、優秀賞3件、入賞9件を選び、授賞式を12月10日(土)「福岡クリスマスマーケット HAKATA」のステージにおいて開催しました。最優秀賞「傘の行進」(作者:福岡工業高校・林玖留未さん)についてはカレッジの研修生が博多織作品(タペストリー)として製作し額装したものを2月28日(火)、高校を訪問し受賞者に贈呈することができました。若い人ならではの瑞々しい感性のデザインが伝統博多織の世界に大きな刺激となっています。

最優秀賞



【福岡県知事賞】「傘の行進」
林 玖留未(福岡工業高等学校)

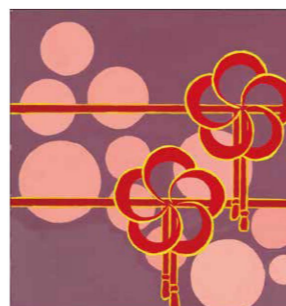
優秀賞



【福岡市長賞】
「夏花火」
鳥飼 莉子(福岡工業高等学校)

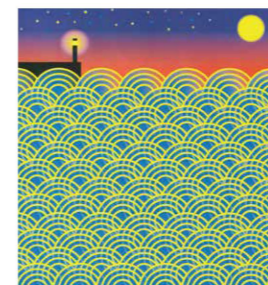


【大野城市長賞】
「月下美人の向こうに」
上野 華鈴(筑陽学園高等学校)

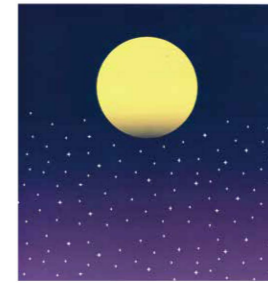


【太宰府市長賞】
「縁結び」
村中 朱李(太宰府高等学校)

入賞



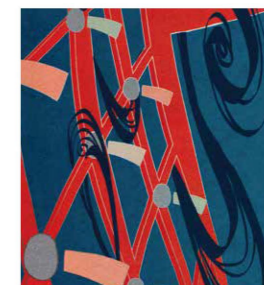
【博多織工業組合理事長賞】
「月に照らされる波」
秋吉 良亮(筑陽学園高等学校)



【福岡県中小企業団体中央会長賞】
「Moonlight&Shootingstar」
阿野 美咲(筑陽学園高等学校)



【福岡商工会議所会頭賞】
「七十二候」
吉田 百合菜(福岡工業高等学校)



【実行委員長賞】
「風鈴」
西嶋 玲子(香椎高等学校)



【審査委員長賞】
「晩夏の景色」
仲江 ことの(筑豊高等学校)



【博多織技能開発養成学校賞】
「月下美鶴」
相川 夏海(太宰府高等学校)



【博多織技能開発養成学校賞】
「白壁の町並」
永田 瑞歩(太宰府高等学校)



【博多織技能開発養成学校賞】
「白い境界線」
大庭 暖稀(太宰府高等学校)



【博多織技能開発養成学校賞】
「ちょう」
織田 ころこ(太宰府高等学校)

2023年 博多つくりベデザインコンクールは 9月1日から募集受付を開始します

年々新しい発想が繰り出し、主催団体として楽しみになっている「博多つくりベデザインコンクール」ですが、2023年(第24回)は昨年同様、9月1日から募集受付を行います。「博多織」の意匠がゴールではなく、高校生の皆さんに「博多」ならではのニューデザ

インと感性を切り開いていって欲しいと思います。そうした挑戦こそが伝統博多織の世界に大きな刺激となっていくと信じます。募集にあたっては、ホームページやSNSで発信する予定です。周りの方々への拡散や協力をよろしくお願いいたします。